

資産評価政策学会
平成 27 年度 研究大会・シンポジウムについて

資産評価政策学会 学術委員会
委員長 中川 雅之

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、今年度の研究大会・シンポジウムを下記要領にて開催致します。会員の皆さまには奮ってご参加いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 開催日時

平成 28 年 1 月 30 日（土）13:00～18:00（18:15～懇親会）

開始時間につきましては、発表論文の状況によって変更される場合があります。ホームページで告知させていただきますので、ご覧になっていただきますようお願いいたします。

2. 会場

日本大学経済学部 7 号館 2 階講堂

（〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-8）

論文発表 経済学部 7 号館

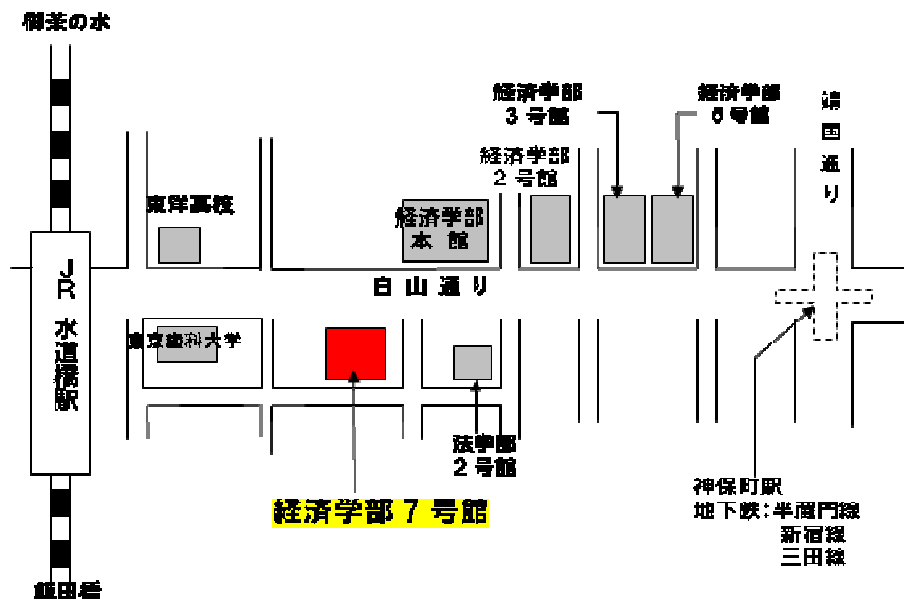
業績賞表彰式 経済学部 7 号館 2 階講堂

シンポジウム 経済学部 7 号館 2 階講堂

テーマ「建物課税は何のためにあるのか -

再建築評価方式・建物課税の効果・資産保有税のあり方をめぐる諸論点」

参加費 無料（ただし、懇親会費は 4,000 円）



水道橋駅（JR 中央線・地下鉄三田線）より徒歩 2 分

神保町駅（地下鉄半蔵門線・新宿線・三田線）より徒歩 7 分

3. プログラム

1月30日(土)

13:00～14:30 平成27年度募集の論文発表

14:50～15:20 平成27年度募集の業績賞 表彰式

15:30～18:00 シンポジウム

18:15～19:30 懇親会

4. シンポジウム

基調講演：仮題「家屋の固定資産税評価の現状と課題」

岡田 康弘 (総務省固定資産税課課長補佐)

パネルディスカッション：

「建物課税は何のためにあるのか -

再建築評価方式・建物課税の効果・資産保有税のあり方をめぐる諸論点」

コーディネーター：浅見泰司 (東京大学大学院教授)

パネリスト：吉野頼利 (東京都主税局資産税部資産評価専門課長)

吉野川健一 (大和不動産鑑定株式会社建築エンジニアリング部)

福井秀夫 (政策研究大学院大学教授)

中川雅之 (日本大学経済学部教授)

趣旨：

固定資産税の家屋評価については、手法が複雑で、実情から離れたものとなっている、という指摘が行われることがある。例えば、同じ建物を今の時点でもう一度新築するとした場合の現時点の建築費を用いて行われている。評価の正確性という観点、評価自体のコストという観点からも課題があると考えられるべきであろう。

また、建物保有税自体が土地の有効利用や、空き家問題の背景となって資源配分を歪めているという指摘もある。

不動産鑑定評価においても、他の先進諸国と異なる日本の物権法の建前に併せて、土地と建物を別の不動産と捉えて、それぞれ独立に評価する前提の下では、実際上は建物だけの流通は難しいこともあり、適切な市場価値を正確に計測する手法が確立しているとは言い難い。

このため、建物課税に関して、その意義、評価手法のあり方、今後の課題等について、アカデミズム、実務家の間で、実務のあり方、政策的な展望も含め、議論を行うこととする。

5. 後援

公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会 公益社団法人日本不動産学会

公益社団法人東京都不動産鑑定士協会 公益社団法人都市住宅学会

一般財団法人資産評価システム研究センター 日本地域学会

6. 参加費

無料 (ただし、懇親会費は4,000円)

プ ロ グ ラ ム

	7号館 7063 教室 座長：中川 雅之
発表 1 13:00 ～ 13:20	「退職給付債務割引率について—ハウスメーカーの財務指標を中心に—」 発表者：都筑 新（愛知工業大学大学院） 岡崎 一浩（愛知工業大学） コメンテーター：中川 雅之
発表 2 13:20 ～ 13:40	「ガバナンス構造の変化がリスクチャリングに及ぼす影響とその評価について」 発表者：石崎篤史（日本政策投資銀行） コメンテーター：廣野 桂子
発表 3 13:40 ～ 14:00	「固定資産税評価事務の現状と現場からの視点及び提言」 発表者：堀川 裕巳（北央鑑定サービス株式会社） コメンテーター：坂野 辰
発表 4 14:00 ～ 14:20	「機械設備等の所有権取得期待権の譲渡担保を考える」 発表者：松田 佳久（創価大学法学部） コメンテーター：上原 由起夫
14:50 ～ 15:20	平成 27 年度 業績賞 表彰式（7号館講堂）
	平成 27 年度シンポジウム（7号館講堂）
15:30 ～ 16:00	基調講演：「家屋の固定資産税評価の現状と課題（仮題）」 岡田 康弘（総務省固定資産税課課長補佐）
16:10 ～ 18:00	パネルディスカッション： 「建物課税は何のためにあるのか - 再建築評価方式・建物課税の効果・資産保有税のあり方をめぐる諸論点」 コーディネーター：浅見泰司（東京大学大学院教授） パネリスト：吉野頼利（東京都主税局資産税部資産評価専門課長） 吉野川健一（大和不動産鑑定株式会社建築エンジニアリング部） 福井秀夫（政策研究大学院大学教授） 中川雅之（日本大学経済学部教授）
18:15 ～ 19:30	懇親会（会場：日本大学経済学部 7号館 14階レセプションルーム）